

さあ、新しい一年が始まりました。
今年も良い年でありますように…。気分も新たに安全運転で！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



恐怖！凍結路でスリップ自損事故・路外逸脱

この映像の訴求ポイントは…

- ◎スピンしたら、後は運任せ。体勢を戻すのは至難です。
- ◎雪道ではスピード出し過ぎと「急」のつく運転操作は厳禁。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



道路右側からの飛び出し

この映像の訴求ポイントは…

- ◎右側車線が混雑していれば飛び出しを警戒せねばなりません。
- ◎車列の間と車列の末尾が要注意ポイント。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



狭い道はスピードダウンが鉄則

この映像の訴求ポイントは…

- ◎接触して怪我するのは生身の自転車や歩行者です。
- ◎追い越しは広めの場所で。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



なんで出てくるのかな……

この映像の訴求ポイントは…

- ◎こちらから良く見えていても、相手も見ているとは限りません。
- ◎「出てきそうだな…」と感じたら、どうすべきでしょう？

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



接触寸前！見てへんやろ！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎高速道路の料金所付近は事故多発地帯です。
- ◎レーン選びに注意が向いて、後続車に気が付かなかった？

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】雪道でなくても危険な“ブラックアイスバーン”

冬になりました。スキーや温泉にいかれる方も多いかと思います。冬はスタッドレスタイヤという方も多いでしょう。雪道でもよく制動が効き、凍える手でチェーンの着脱をすることも必要ありません。スタッドレスタイヤだけで、クルマにチェーンを載せていない人も少なくないようです。

しかし過信は禁物です。山の上にあるスキー場などでは、勾配のある場所も多く、スタッドレスタイヤでは登り切れないこともあります。また、1年中、スタッドレスタイヤを履いている場合は、肝心の溝がすり減っていることに気が付かず、実際に雪道や凍結路に来たときにスリップしてしまうこともあります。雪のありそうな地方に出掛けるときは、あらかじめスタッドレスタイヤの溝を確認し、念のために必ずチェーンも載せていくようにしましょう。

ところで、冬のドライブでは、雪道走行も十分注意が必要ですが、実は雪がないところでも危険は存在しています。たとえば都心でも、冬の晴れた日の早朝、橋の上を走るときは要注意です。前日に雪はもちろん、雨も降ったわけでもないのに、橋の上が凍結していることがあるからです。

これは「結露凍結」という現象。大気中の水蒸気や霧が橋の路面で冷やされ凍結してしまうのです。放射冷却が起こりやすい晴れた無風の朝に起きます。すこし時間が経てばお日さまによって融けてしまいますが、スキーなど行楽地に向かうときは朝早く出発することもあり、結露凍結に遭遇する可能性があります。ぱっと見は、雪もなく、路面も黒く見えますが、薄い氷の膜でツルツル…という状況です。寒さが身に堪えるような晴れた無風の朝は、橋の上ではスピードを落として走りましょう。



ブラックアイスバーンでは、制動距離もグンと伸びます。写真は北海道で実験を行った時の様子です（写真は3パターンで合成）。スタッドレスタイヤを装着したABS機能付きの乗用車で、時速40kmからフルブレーキをかけたときの制動距離を比較しました。①が圧雪路（20.2m）、②がウェット路（11.0m）、③がブラックアイスバーン（69.5m）です。見た目はウェット路と変わらないものの、ABSが作動しながらズルズルと進んでいってしまいました。QRコードを読み込むと、実験の様子を映像でご覧いただけます。